



このコーナーでは、まちのみなさんからの情報をご紹介します。今月は、「珍崎地区の応急手当講習会」、「国賀剣友会県大会出場」、「シャーラ甚句」の3つの情報をご紹介します！



国賀剣友会

今年も県大会に出場しました！

7月3日（日）、「第51回島根県少年武道大会」が、松江市の島根県立武道館で開かれ、国賀剣友会から5名の選手が熱戦を繰り広げました。

高学年の部・中学年の部共に団体戦での出場で、両チーム共惜しくも1回戦敗退となりましたが、少ない人数でも最後まで諦めることなく、全力を尽くすことができました。

1名足りないチームで挑んだ、高学年で大将を務めたキャプテンの坂冬地くん（小6）は、「悔いが残ってしまった。だからこそ次の大会で勝ちたいという気持ち」がさらに強くなった。」と感想を述べられました。



出場した5名の選手



▲ 県大会の様子（右：福島凧里選手）

昇級審査会に挑戦しました！

また6月26日（日）には、昇級審査会が海士町で開催され、国賀剣友会から10名の選手が試験に挑み、全員合格いたしました。おめでとうございます！受験者と合格級位は右記のとおりです。

1級	向原 颯太（中1）	6級	福島 凧里（小3）
1級	吉谷 広成（中1）	6級	福島 純怜（小3）
2級	坂 冬地（小6）	7級	福島 碧汐（小2）
2級	上原 陽莉（小6）	7級	木村 華（小2）
6級	坂 夏芽（小3）	7級	田中 心葉（小2）



観光で訪れた西ノ島町の魅力に惹き込まれ、シャーラ甚句を作詞作曲しました！

古田さんが制作された、民謡「シャーラ甚句」は西ノ島チャンネルや西ノ島町公式 Youtube チャンネルで放送しますので、ぜひご覧ください。



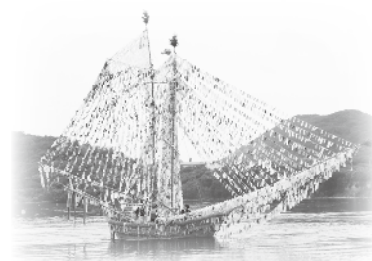
ふるた あんな
古田 安菜さん(40)
兵庫県姫路市在住
職業：海外営業

兵庫県姫路市在住の古田安菜さんは、2011年の夏、偶然テレビで見た隠岐の景色に魅了され観光に訪れました。旅の途中、西ノ島の盆踊りや精霊船に触れ、藁で出来た船に乗ったご先祖様をじっと見送る人たち・・・このような光景を目の当たりにし、胸が締めつけられたそうです。

その後、2013年頃から本格的に民謡を習い、ずっと心に残っていた精霊船をテーマに民謡の制作に取り掛かりました。「あの世へ送り、自分もやがてそこへ行き、そしてまた戻ってくる。寄せては返す波のような、この命の物語の唄は自然とできました。」と、制作中の様子を古田さんは話します。

たった一人の旅人として訪れた島で、今では隠岐のお父さんや大好きな友人が出来たそうです。

いずれは愛する島の盆踊りの唄い手となることを夢見て、現在も民謡の修行に励み続けておられます。



当コーナーでは今回ご紹介したような情報や、「〇〇に挑戦しています！」「うちの〇〇すごいでしょ！」など、周りの皆さんにぜひ紹介したい！という情報を大募集中です。自薦他薦は問いません。なお、すべてが掲載できるわけではございませんが、出来るだけたくさんの方の情報を掲載できるようにしたいと思っています。わがとこ情報のご提供は下記までお願いします。

■西ノ島町役場 企画財政課 企画広報係 TEL:08514-6-0105 FAX:08514-6-0683





珍崎地区で

応急手当講習会を実施しました！

7月3日（日）、珍崎地区で「応急手当講習会」を実施しました。この日は、隠岐島消防署島前分署から講師を招き、区民22名の方が参加されました。

この講習は昨年も実施し、その後、珍崎地区で実際にAEDを使用する場面がありましたが、講習後であったこともあり、現場にいた区民のみなさんは、躊躇することなく心臓マッサージやAEDの操作を行うことができ、講習の成果があったと清水区長さんは話されていました。

講習では、倒れている人を発見した想定で、意識の確認、119番通報、訓練用の人形を使って心臓マッサージをするなどの一連の流れや、AEDの操作手順について学びました。講師に積極的に質問する場面が見られ、区民のみなさんは「いざというときに役立てたい」と感想を述べられていました。

講習会の様子



▲ 人形を使った心臓マッサージ



▲ AEDの操作

地区や職場等で、応急手当講習をご希望の団体の方は、隠岐島消防署島前分署（☎6-1119）までお問い合わせください。



この日講師を務めた
隠岐島消防署島前分署の職員のみなさん

● 先日、区内清掃へ行きました。私は朝が弱いので、集合時間の5分前に起きて、そのままパジャマ姿で参加しました。ご近所さんからは「やぐれ、眠いだろうに、ありがとうね。」と言われました。最後には久しぶりに会ったご近所さんに、お手製のマーマレードジャムを頂きました。とても美味しかったです。

● ある友人から、「別府にある、喫茶店に大きなパフェがあるから付いて来てほしい。」と言われ、気になったので行ってきました。早速、注文しようと思ったら、喫茶店の店主に「そのパフェは1人で食べるとお腹を壊すよ。」と言われたので、友人と分けっこしながら食べました。2人で丁度良いくらいでした。

● 私がずっと、したいと思っていた風あげを国賀海岸でしてきました。私は風あげのセンスは皆無でしたが、一緒に居た友人は悠々と飛ばしていて羨ましかったです。国賀海岸は風が強いので、風は空高く上がりました。

「地域おこし協力隊ワタリ」

地域おこし協力隊 の日常便り June / no.13

ワタリです。



風あげ



大すきなパフェ



頂いたマーマレードジャム